

件名	令和5年度コミュニティ交流会について
内容	<p>日 時：令和5年8月5日（土） 9時30分～12時30分 場 所：市民福祉プラザ5階 参加者：合計35名（28町内会） 対 象：260町内会 中央地域：112町内会（鴨池地区） 谷山地域：58町内会（谷山、西谷山校区） 吉田地域：48町内会（全域） 喜入地域：32町内会（全域） 桜島地域：10町内会（桜島地区） 会次第：別紙のとおり</p> <p>【意見交換による6グループの事例等の発表】 テーマ『役員・班長の負担軽減策』</p> <p>Aグループ（発表者：日之出町町内会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の見直しをする。 ・班長決めの際は出来ない人は飛ばすなどの融通をきかせる。 ・あらかじめ次期以降の班長も候補を決めて回覧しておくことにより、心構えや準備ができる時間を設ける。 ・特定の役員に負担が集中しないように活動内容などの情報共有や作業の分担をしていく。 ・情報共有のため、会議録等を記載したノートを作成し役員間で引き継ぐ。 <p>Bグループ（発表者：騎射場町内会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINEを活用し役員会などを行う。 ・仕事を減らせるよう考えていく。 ・あいご会と連携する。 <p>Cグループ（発表者：瀬々串上自治公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧依頼文書の中には回覧の必要性に疑問が残るものもあるため、ある程度選別するのもいいのかもしれない。 ・役員の効率的な引継ぎのため、日頃から書類等をパソコンに保存しておき、いつでも引き継げる準備をしておく。 ・参加しやすいイベント等を企画し住民同士で交流することをきっかけに、参加したり役員を引き受けたりしてくれる人を探す。 <p>Dグループ（発表者：恵美須東町内会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動を振り返り、見直しを行い、不必要なものは削減する。 ・活動を可視化する。 ・プライバシーに配慮しながら地域住民の特技等を聞き、リストアップすることでそれぞれの役割の適任者を探し、育成していく。 ・地域に密着し寄りそう町内会活動をしていくことで町内会の重要性を伝える。 <p>Eグループ（発表者：新地町内会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員が加入のネックになっている実態を受け、希望者には役員を免除する。

- ・回覧だけではなく、戸別訪問で直接顔を見て行事に誘う。日頃のふれあいで役員に対する壁をなくしてもらおう。
- ・会費集金の負担軽減として、集金に伺うのではなく日時を決め持ってきてもらう方式にする。年払いに割引を設ける。

Fグループ（発表者：中原団地公民館）

- ・役員のみならず手不足の背景には役員の仕事内容が分かりにくいことがあると思う。
- ・役員の任期が長く、役員同士の交流や情報共有の不足により仕事内容が分からない。
- ・情報共有や親睦を深めるために役員会を開く。その際はお茶会とした方が柔らかい雰囲気により参加しやすいと思う。
- ・役所が作成した回覧文書は、内容が固いため、回覧板を手作りしたり、文書にアンダーラインをひいたりして回すと住民の反応が良い。
- ・会費集金については日時を決め持ってきてもらう方式を取り入れる。
- ・将来の町内会運営のためには、相談できる協力者を作ることが重要である。